

友好都市ガイスト市から

インゲボルグさんが町訪問 2週間滞在し交流を深める

友好都市・オランダ王国ガイスト市のインゲボルグ・ハルチエスさん（三）が、七月十二日から二十五日まで本町を訪問しました。今年二月、本町の海外研修団がガイスト市を訪問した際にホームステイを受け入れたのが縁で、本町を訪問したもので、ホームステイや小学校訪問などを通じて、町民の皆さんとの交流を深めました。

沼崎喜一町長を表敬訪問するインゲボルグさん(写真中央)

インゲボルグさんは、七月一日から十一日まで京都や奈良に滞在した後、十二日に山田入り。本町とガイスト市の交流を推進する財団法人ホフライスの役員でもあり、今回の訪問をととても楽しみにしてきました。

十四日には、山田町日蘭交友会の会の伊藤敏会長とホストファミリーの菊地和三さん

(六)・大比子さん(同)ご夫妻、織笠IIらと共に沼崎喜一町長を表敬訪問しました。

伊藤会長によるインゲボルグさんの紹介に続き、沼崎喜一町長が「山田の中学生や海外研修団がガイストを訪問した際には、財団法人ホフライスの皆さんにお世話をいただき心から感謝致します。山田にはたくさん素晴らしい所がありますので、約二週間、山田を満喫しながらたくさんのお思い出をつくってください」と歓迎のあいさつ。インゲボルグさんに町章入りの升などの記念品を贈呈しました。

これに対し、インゲボルグさんは「沼崎町長には表敬訪問という貴重な機会をいただきありがとうございます。京都、奈良での約二週間の滞在とは違って、山田では人との交流があり感激しています」と述べ、財団法人ホフライスのフレッド・ステイ

ンスマ会長からのメッセージを沼崎町長に手渡しました。

十六日からは、鯨と海の科学館やオランダ島の見学のほか、織笠小学校の訪問などを通じ、多くの皆さんと交流を深めました。二十五日には菊地和三さん宅で送別会が開かれ、ホストファミリーの坂本善雄さん(五)II織笠IIご家族など十八人が参加。心づくしの手料理を囲みながら最後の夜を過ごし、翌日、お世話になった皆さんに別れを告げ、本町を後にしました。

財団法人ホフライズと山田町日蘭交友会の会の民間団体により進められた今回の交流。民間レベルでの交流が着実に推進していることを感じさせる交流でもありました。



送別会の参加者全員で記念撮影



21日にオランダ島に上陸。2000年5月に友好都市を締結した時にガイスト市から贈られた記念プレートを見学しました